

【植木中校区小中一貫教育目標】

郷土を愛し、郷土に生きる児童生徒の育成

学校運営協議会

＜学校像＞

- 子どもが笑顔で安心して過ごせる学校
- 環境が整った美しい学校
- 教師も子どもも満足できる学校

＜児童像＞

- 自ら課題を見つけ、追究する子ども（知）
- よりよい人間関係をつくり、自己の生き方を考える子ども（徳）
- 自らをねばり強く鍛え、規則正しい健康的な生活ができる子ども（体）

＜教師像＞

- 子どもとのかかわりを大切にし、成長を願う教師
- チームワークを大切にする教師
- 学び続ける教師

進んで  
全力で

貴き三つの汗

頭

心

体

粘り強く

【教育課題】

- 読み・書き・計算等の徹底
- ルールやマナーの向上
- 基本的な生活習慣の確立と自主的実践的態度の育成
- コミュニケーション能力の向上
- 小中一貫教育交流会に向けての取組

【重点目標】

主体性とインタラクティブ・コミュニケーション能力を育む児童の育成

- 学習・生活の基盤をつくる。
- 自分で考えて行動できる。
- 双方向の交流で課題解決ができる。
- 適切な言葉遣いができる。

【経営課題】

- 学校経営組織の機能化
- ICT 機器の効果的活用
- 校内人材育成の推進
- 家庭・関係機関との連携・協働の強化
- コミュニティ・スクールの推進

【経営の重点】

- 同学年・近接学年、校務分掌の各部の協働の強化
- のおがた授業モデルや植木スタンダードを基にした、不断の授業改善
- ゴールを見通した「意味づけ」「価値づけ」「方向づけ」のある指導

【本年度の努力点】

- 教育課程を把握し、課題解決に向けた取組を共有した上での教育活動の展開と定期的な検証改善を行う。
  - 「重点目標」、「経営の重点」を踏まえた学年・学級経営に努める。
  - 学力向上推進委員会等の組織を中心とした職員間の連携を密にして課題や取組の共有を図り、教育効果を上げる。
- 学習・生活の基盤をつくる。
  - 学習の心構えをつくり、「読み・書き・計算」等を十分に習熟させることで、学習の基盤をつくる。
  - 徹底反復学習で集中力を高め、その指導技術を授業に生かす。(素早い切り替え、テンポのよさ、隙間時間をつくらない等)
  - ルールやマナー、言葉遣い等に気を付け、人権が尊重される学校づくりを目指す。
- 主体性を重んじ、仲間と協働できる児童にする。
  - 昨年度取り組んだ「鍛ほめプロジェクト」の非認知能力を高める取り組みの継続と、児童が自他のよさを認め、よさを発揮する取組を実施することで、自分の成長を実感し自信を高め、主体性を養う。
  - 授業や行事、集会などの課題解決や振り返り等のあらゆる場面で、できる限り双方向の交流を設定する。
- 各小中学校との連携を密にし、植木中校区小中一貫教育の一層の推進を図る。特に、ICTの効果的な活用を追究する。
- コミュニティ・スクールの推進と計画的な学校評価の実施を通して「開かれた学校づくり」に努める。
- キャリアに応じてそれぞれの教職員に求められる資質・能力の向上を図る。